

役員会だより

8月7日(水)15時30分から組合事務所で開催。
 ・自民党から取組を勧められた「持続可能な開発目標 (SDGs:エスディーズ)」について、組合として前向きに取り込むこととした。費用負担がある場合は、理事会に諮ることとした。
 ・全鉄評策定のMグレード等の品質管理体制に関する運用方針について、今後はM及びRJNグレード部会で周知を進めることとした。

東京湾岸1都2県合同戦略会議の開催

8月29日(木)15時30分から東京鉄構工業協同組合事務所で開催した。各都県組合は理事長と事務局長、加えて本県は石井副理事長、千葉は林副理事長も出席した。研修テーマ、組織体制と運営方法、グレード認定に係る指導方法などについて情報・意見交換をし、首都圏の共通課題を話し合っていく趣旨から今後も年1回の会合を継続し、その都度時宜的なテーマを取り上げて情報・意見交換することを確認した。その後懇親会が開かれ、親交を深め合った。



青年部の横顔

No. 20



大沢工業株式会社
 工事部長 大沢竜也
 川崎市川崎区水江町6-12
 TEL 044-266-8787
 FAX 044-266-8887
 E-mail
 k-osawa@osawa-kougyo.co.jp

弊社は自分で祖父から三代続く、鉄骨制作や現場鉄骨建て方などを一式やっているMグレードの鉄骨工場です。

入社して12年目になりますが、最初は右も左もわからず、現場の職人さん達に沢山迷惑をかけてきました。大沢の息子はなんもできないと思われたり言われたりするの、恥ずかしい、くやしいという思いが自分を成長させてくれたと今ではすごく思います。現場の人達、工場の職人さんに進んでわからないことを質問したり、先輩職人さん達の制作技術を見て自分の物にしようとして頑張ってきました。

最近では社長や専務から、現場を最初から最後まで任せられることも多くなり、いかに現場を職人さん達と綺麗になおかつ早く完了できるかに生きがいを感じています。

趣味はアウトドアがすごく好きで、夏はダイビングしに海や旅行に行ったり、冬は温泉にスノーボーなどとアクティブに色々挑戦しています！

人生は山あり谷ありますが、さらなる高みに行けるように、日々勉強しながら頑張っていきたいと思っています。

関東支部1都9県 2018年度実質年間鉄骨生産高調査結果報告

関東支部運営委員会が5月に支部構成組合に実施した実質年間鉄骨生産高調査結果が、第2回運営委員会において発表された。この調査は、「業界環境の把握」の一環として16年度から毎年行い、今回が4回目である。関東甲信越の組合加入企業は590(581)社で年間鉄骨推定生産高は124(122)万トン1社平均 2,106(2,102)トンと昨年とほぼ同量で、引き続き稼働は旺盛であったことが窺える。回答率は神奈川が4年連続の100%で、他2県で100%であったが、60%台の県もあり、各県の取組状況に温度差がある。※()内は昨年度数値。未回答分はグレード別平均値を考慮して算出。

各県別の生産高では長野、新潟、栃木の順に多く、神奈川は山梨に次いで少なかった。昨年度との比較では栃木が23%、東京が19%、茨城が15%増加した一方、千葉が19%減少した。1社平均では長野、栃木、東京の順に多く、神奈川が最低であった。

	神奈川			1都9県		
	社数	生産高	平均	社数	生産高	平均
S	0			2	122,719	61,360
H	3	24,700	8,233	57	441,808	7,751
M	22	21,585	981	224	514,978	2,299
R	8	3,223	403	150	110,051	734
J	0			6	1,050	175
他	15	2,612	174	151	52,188	346
計	48	52,120	1,086	590	1,242,794	2,106

1都9県全体のグレード別生産量ではMが41%、Hが36%、Sが10%、Rが9%、未認定が4%であった。1社平均ではHはMの約3.4(3.8)倍、MはRの約3.1(2.9)倍仕事をこなしている。神奈川のMの1社平均生産高は従来同様1都9県全体の半分以下と少ない。

2018年度の建築着工面積から割り出した鉄骨需要量(上表中のB)は186万トンで約1/3の61万トンが域外・組合未加入企業に流出している計算になる。県別の需要量に対する生産高比較では長野は3倍強、新潟は2.5倍となっているが、神奈川は2割弱で、着工面積需要量からは7割を占める東京・神奈川・埼玉・千葉の首都圏は実際には28%(27%)しか受注しきれていない状況にある。

都県	社数	生産高A	平均	B	A/B
茨城	62	95,525	1,541	130,713	73%
栃木	55	143,000	2,600	103,318	138%
群馬	65	130,507	2,008	90,128	145%
埼玉	53	92,450	1,744	269,731	34%
千葉	61	112,827	1,850	290,705	39%
東京	48	109,455	2,280	469,087	23%
神奈川	48	52,120	1,086	281,613	19%
新潟	100	210,027	2,100	83,793	251%
山梨	31	38,024	1,227	56,272	68%
長野	67	258,859	3,864	80,843	320%
計	590	1,242,794	2,106	1,856,203	67%